

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】平成20年7月17日(2008.7.17)

【公開番号】特開2006-323500(P2006-323500A)
 【公開日】平成18年11月30日(2006.11.30)
 【年通号数】公開・登録公報2006-047
 【出願番号】特願2005-144225(P2005-144225)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 9/44 (2006.01)

G 0 6 F 9/445 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 2 0 K

G 0 6 F 9/06 6 1 0 L

【手続補正書】
 【提出日】平成20年6月4日(2008.6.4)
 【手続補正1】
 【補正対象書類名】特許請求の範囲
 【補正対象項目名】全文
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【特許請求の範囲】
 【請求項1】

管理装置にアプリケーションを管理する所定のフレームワークが存在し、前記所定のフレームワークが他のフレームワークのアプリケーションも管理する管理方法であって、
 識別手段が、アプリケーションのインストール先が前記所定のフレームワークか否かを識別する識別工程と、

管理手段が、前記識別工程での識別結果に応じて前記アプリケーションを前記所定のフレームワークか前記他のフレームワークにインストールし、前記アプリケーションのライフサイクルを管理する管理工程とを有することを特徴とする管理方法。

【請求項2】

前記管理工程は、前記アプリケーションのインストール先が前記他のフレームワークの場合、前記所定のフレームワーク上に前記アプリケーションの仮想アプリケーションを生成し、該仮想アプリケーションを管理することを特徴とする請求項1記載の管理方法。

【請求項3】

前記管理工程は、別々のフレームワークで稼動する複数のアプリケーションをグループ化して管理することを特徴とする請求項1記載の管理方法。

【請求項4】

管理装置にアプリケーションを管理する所定のフレームワークが存在し、前記所定のフレームワークが他のフレームワークのアプリケーションも管理する管理装置であって、
 アプリケーションのインストール先が前記所定のフレームワークか否かを識別する識別手段と、

前記識別手段での識別結果に応じて前記アプリケーションを前記所定のフレームワークか前記他のフレームワークにインストールし、前記アプリケーションのライフサイクルを管理する管理手段とを有することを特徴とする管理装置。

【請求項5】

前記管理手段は、前記アプリケーションのインストール先が前記他のフレームワークの場合、前記所定のフレームワーク上に前記アプリケーションの仮想アプリケーションを生成し、該仮想アプリケーションを管理することを特徴とする請求項4記載の管理装置。

【請求項 6】

前記管理手段は、別々のフレームワークで稼動する複数のアプリケーションをグループ化して管理することを特徴とする請求項 4 記載の管理装置。

【請求項 7】

管理装置にアプリケーションを管理する所定のフレームワークが存在し、前記所定のフレームワークが他のフレームワークのアプリケーションも管理する管理装置としてコンピュータを機能させるためのプログラムであって、

アプリケーションのインストール先が前記所定のフレームワークか否かを識別する識別手段と、

前記識別手段での識別結果に応じて前記アプリケーションを前記所定のフレームワークか前記他のフレームワークにインストールし、前記アプリケーションのライフサイクルを管理する管理手段としてコンピュータを機能させるためのプログラム。

【請求項 8】

前記管理手段は、前記アプリケーションのインストール先が前記他のフレームワークの場合、前記所定のフレームワーク上に前記アプリケーションの仮想アプリケーションを生成し、該仮想アプリケーションを管理することを特徴とする請求項 7 記載のプログラム。

【請求項 9】

前記管理手段は、別々のフレームワークで稼動する複数のアプリケーションをグループ化して管理することを特徴とする請求項 8 記載のプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0014

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0014】

本発明は、管理装置にアプリケーションを管理する所定のフレームワークが存在し、前記所定のフレームワークが他のフレームワークのアプリケーションも管理する管理方法であって、識別手段が、アプリケーションのインストール先が前記所定のフレームワークか否かを識別する識別工程と、管理手段が、前記識別工程での識別結果に応じて前記アプリケーションを前記所定のフレームワークか前記他のフレームワークにインストールし、前記アプリケーションのライフサイクルを管理する管理工程とを有することを特徴とする。